[キャッシュクエリ] ウィンドウ

OnCommand Workflow Automation 5.1

NetApp
December 18, 2023

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/workflow-automation/help/reference-add-cache-query-dialog-box.html on December 18, 2023. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

[キャッシュクエリ] ウィンドウ 1
キャッシュクエリリスト 1
ツールバー 2
Add Cache Query ダイアログボックス 3
Edit Cache Query ダイアログボックス 4
Clone Cache Query ダイアログボックス 5

[キャッシュクエリ] ウィンドウ

Cache Queries ウィンドウでは、 WFA ディクショナリエントリとそれに関連付けられているデータソースタイプのキャッシュクエリを管理できます。

キャッシュクエリは、クエリで指定されたテーブルから必要なデータを取得する SQL クエリです。キャッシュクエリは、ディクショナリエントリと1つ以上のデータソースタイプに関連付けられます。データソースOnCommand Unified Manager 6.0のテーブルからWFAキャッシュにボリュームなどの一部の情報を取得する場合は、キャッシュクエリを定義できます。

- キャッシュクエリテーブル
- ツールバー

キャッシュクエリリスト

[キャッシュクエリ] テーブルには、ディクショナリエントリとそれに関連付けられたデータソースタイプが一覧表示されます。各列に対応したフィルタリング機能とソート機能を使用したり、列の順序を並べ替えたりして、テーブルの表示をカスタマイズできます。

- テーブル全体のフィルタリングを有効または無効にします。フィルタリングが無効になっている場合は、アイコンの上に赤色の「 x 」が表示されます。
- をダブルクリックします フィルタリングの選択をクリアおよびリセットします。
- 各列ヘッダーのを使用すると、列の内容に基づいてフィルタリングできます。をクリックします 列では、ドロップダウンリストまたは使用可能なすべての項目で特定の項目をフィルタできます。
- 列ヘッダーをクリックすると、ソートの昇順と降順が切り替わります。適用されたソート順序は、ソート用矢印（ （昇順の場合）および 降順の場合）。
- 列の位置を並べ替えるには、列をドラッグアンドドロップして必要な順序で配置します。ただし、これらの列を非表示にしたり削除したりすることはできません。
- [* 検索 * （ Search * ）] フィルタテキストボックスをクリックすると、特定のコンテンツを検索できます。さらに、対応する列タイプ、アルファベット、数字を指定して、サポートされている演算子を使用して検索することもできます。

Cache Queries テーブルには、次の列があります。

- * 認定 *

  キャッシュクエリがユーザ作成のものであるかどうかを示します（ ）、 ps （ ）、 community （ ）、ユーザーロック（ ）、またはネットアップ認定（ ）。

- * スキーム *

  環境に関連するデータを含むスキーム名（スキーマ）を示します。たとえば、 **cm_storage** キャッシング方式には、 clustered Data ONTAP に関連するデータが含まれています。関連するスキーム情報はデータソースから取得されます。

- * 辞書エントリ *

  スキームに関連付けられているディクショナリエントリを表示します。

- * エンティティバージョン *

  オブジェクトのバージョン番号を「 major.minor.revision 」形式で表示します。たとえば、 1.0.0 です。

- * データソースの種類 *

  ディクショナリエントリに関連付けられているデータソースタイプを表示します。

- * 最終更新日 *

  キャッシュクエリが最後に更新された日時が表示されます。

- * 更新者 *

  キャッシュクエリを更新したユーザが表示されます。

ツールバー

ツールバーは列ヘッダーの上にあります。ツールバーのアイコンを使用して、さまざまな操作を実行できます。これらのアクションには、ウィンドウの右クリックメニューからもアクセスできます。

- * （新規） *

  キャッシュクエリの追加ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、キャッシュクエリを作成できます。

- * （編集） *

  選択したキャッシュクエリの Edit Cache Query ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、キャッシュクエリを編集できます。

- * （クローン） *

  Add Cache Query ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、選択したキャッシュクエリのクローンまたはコピーを作成できます。

- * （ロック） *

  確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したキャッシュクエリをロックできます。

- * （ロック解除） *

  確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したキャッシュクエリのロックを解除できます。このオプションは、ユーザがロックしているキャッシュクエリに対してのみ有効になります。ただし、管理者は、他のユーザによってロックされているキャッシュクエリのロックを解除できます。

- * （削除） *

  確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したユーザが作成したキャッシュ

クエリを削除できます。

WFA 、 PS 、またはサンプルキャッシュのクエリは削除できません。

- * （エクスポート） *

  確認ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、選択したユーザが作成したキャッシュクエリをエクスポートできます。

  WFA 、 PS 、またはサンプルキャッシュのクエリはエクスポートできません。

- * （テスト） *

  [キャッシュクエリのテスト] ダイアログボックスが開き、選択したキャッシュクエリをテストできます。

- * （パックに追加） *

  パックキャッシュクエリに追加（ Add to Pack Cache Query ）ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キャッシュクエリとその信頼できるエンティティをパックに追加できます。このパックは編集可能です。

  パックに追加機能は、証明書が * None に設定されているキャッシュクエリに対してのみ有効になります。 *

- * （パックから削除） *

  選択したキャッシュクエリの [パックキャッシュから削除] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、パックからキャッシュクエリを削除または削除できます。

  パックから削除機能は、証明書が * None に設定されているキャッシュクエリに対してのみ有効になります。 *

Add Cache Query ダイアログボックス

[Add Cache Query] ダイアログボックスでは、ディクショナリエントリの新しいキャッシュクエリーを作成し、そのクエリーを特定の Active IQ Unified Manager バージョンなどのデータ提供タイプに関連付けることができます。

- * 辞書エントリ *

  キャッシュクエリを作成するディクショナリエントリを選択できます。

- * エンティティバージョン *

  キャッシュ・クエリーのバージョン番号を 'major.minor.revision 形式で入力できますたとえば '1.0.0 です

- * データソースの種類 *

キャッシュクエリに関連付けるデータソースタイプを選択できます。たとえば、 Active IQ Unified Manager _6.0 です。

テーブル構造

- * 属性タブ *

  ディクショナリエントリに関連付けられている属性を表示します。

- * テーブル SQL タブの作成 *

  そのディクショナリエントリのテーブル作成スクリプトを表示します。

SQL 選択クエリ

指定したデータプロバイダのテーブルからデータを取得する SQL SELECT クエリを入力できます。

コマンドボタン

- * テスト *

  SQL SELECT クエリ * フィールドに入力した SQL クエリをテストできます。

- * 保存 *

  キャッシュクエリを保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

  変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

Edit Cache Query ダイアログボックス

[キャッシュ照会を編集（ Edit Cache Query ）] ダイアログボックスでは、ディクショナリエントリに関連付けられたキャッシュ照会を編集できます。

- * 辞書エントリ *

  キャッシュクエリに関連付けられているディクショナリエントリを指定します。

- * エンティティバージョン *

  キャッシュ・クエリーのバージョン番号を 'major.minor.revision 形式で入力できますたとえば '1.0.0 です

- * データソースの種類 *

  キャッシュクエリに関連付けられているデータソースタイプを指定します。

テーブル構造

ディクショナリエントリに関連付けられている属性と SQL 構文を表示します。

- * SQL SELECT クエリ *

  ディクショナリエントリと選択したデータプロバイダタイプに関連付けられた SQL クエリを編集できます。

コマンドボタン

- * テスト *

  SQL SELECT クエリ * フィールドに入力した SQL クエリをテストできます。

- * 保存 *

  キャッシュクエリを保存してダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

  変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

Clone Cache Query ダイアログボックス

[キャッシュ照会を編集（ Edit Cache Query ）] ダイアログボックスでは、ディクショナリエントリに関連付けられたキャッシュ照会を編集できます。

- * 辞書エントリ *

  キャッシュクエリに関連付けられているディクショナリエントリを指定します。

- * エンティティバージョン *

  キャッシュ・クエリーのバージョン番号を 'major.minor.revision 形式で入力できますたとえば '1.0.0 です

- * データソースの種類 *

  キャッシュクエリに関連付けられているデータソースタイプを指定します。

テーブル構造

ディクショナリエントリに関連付けられている属性と SQL 構文を表示します。

- * SQL SELECT クエリ *

  ディクショナリエントリと選択したデータプロバイダタイプに関連付けられた SQL クエリーを指定します。

コマンドボタン

- * テスト *

  SQL の SELECT クエリフィールドに入力した SQL クエリをテストできます。

- * 保存 *

  キャッシュクエリを新しいエントリとしてキャッシュクエリテーブルに保存し、ダイアログボックスを閉じます。

- * キャンセル *

  変更がある場合はキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。